

一日も早い中距離電車の川口駅停車を

J R川口駅の1日の乗降客数は約16万人です。これは、埼玉県内のJ Rの駅で、大宮、浦和に次いで3番目に多い状況となっていますが、川口駅には京浜東北線1本という極めて脆弱な輸送力しかありません。

川口駅の混雑緩和には、湘南新宿ライン等の中距離電車を停車させることが必要であり、これは我がまち川口の悲願です。これまで我々自民党は、駅頭での署名活動やJ R東日本への交渉などを行ってきました。また、市においても、国やJ R東日本に対して停車を要望し続けています。そのような中、昨年12月5日に、奥ノ木市長が新藤義孝代議士とともに、J R東日本本社を訪れ代表取締役副社長と面談したところ「川口市ほど用地確保など受け入れ体制を積極的に提案されている所はない。技術面、電車の運行面については内部の検討を行ってきており引き続き真剣に対応して参りたい。」との回答がありました。

このまま粘り強く交渉を続け、一日も早い中距離電車等の川口駅停車を目指して参ります。また、川口駅停車が実現すれば、ホームの増設や駅舎の改修などと併せ、川口駅東口周辺の整備も必要となってきます。整備にあたっては、市が中心となってJ R東日本、国際興業株式会社、川口商工会議所、川口市商店街連合会などと協議会を設け、話し合いを進めていくべきと考えます。

日光御成道 川口囲碁祭り

川口市協働推進事業



2月13日・14日 国の重要文化財である「旧田中家住宅」で行われた第43期棋聖戦第4局（読売新聞社主催）が井山裕太棋聖と山下敬吾九段の対局が行われました。

写真提供 読売新聞社

たたら祭り開催について

川口市の夏の風物詩である「たたら祭り」は、毎年8月の第1週の土・日曜日にオートレース場及びその周辺道路で開催されてきました。

しかし、来場される方や祭りに参加する方にとって、8月初旬の猛暑は過酷な状況をもたらす健康への影響もあることから、今年は開催日を8月31日（土）、9月1日（日）へと約1ヶ月遅らせることとなりました。

また、オートレース場の建物の耐震改修工事が予定されていることから、会場も上青木のSKIPシティに変更されることが決まりました。

そして、たたら祭りを締めくくる花火の開催は5月18日に「改元記念&川口市の中核市移行1周年記念」川口花火大会として川口商工会議所主催で行われます。

SKIPシティのこれからの発展に向けて

昨年12月25日、NHKから、NHKが所有するC街区の土地約2.4万㎡と、川口市及び埼玉県が所有するB街区の土地約2.2万㎡を交換し、放送関連施設を整備し2025年の運用開始を目指すとの方針が発表されました。これに対して奥ノ木市長は、長年の懸案であったSKIPシティの整備に弾みがつくものであると土地の交換に合意いたしました。

NHKが整備する施設の詳細は、およそ1年をかけて検討されるということであり、長年にわたって、NHKに対しSKIPシティへの進出を働きかけてきたこれまでの活動がやっと実を結びました。

SKIPシティは、映像関連産業を核とした次世代産業の集積地として整備されてきましたがNHKの施設が整備されることで、その魅力を更に高めることができることを期待しています。

